

本屋大賞

(翻訳小説部門・ノミネート作品も)

【本屋大賞】

全国の書店員が「面白かった」「お客様に薦めたい」と思った本に投票して選ばれる、2004 年創設の文学賞です。

出版業界を現場から盛り上げる目的で設立され、プロの評価ではなく読者に近い書店員の視点から作品が選ばれるのがこの賞の特徴で、毎年4月上旬に発表されます。

【本屋大賞翻訳小説部門】

過去 1 年間に日本で出版された翻訳小説(新訳含む)の中から、全国の書店員が「これぞ！」という作品に投票して選出する賞です。海外作品の魅力を日本に伝えるため、2012 年(第 9 回)から正式部門として設立され、話題作や隠れた名作が選ばれています。本屋大賞と同じ毎年4月上旬に発表されます。

**本屋大賞(翻訳小説部門も含む)の受賞作品だけでなく、ノミネート作品も展示します。
まだ読んでいない本がきっと見つかるはず。**